

PORTS
OF
OSAKA
PREFECTURE

大阪府の



みなと
2008年10月
No.90

TOPICS

- 就任にあたって..... 1
- 前大阪府港湾協会会長牧野文雄氏に大阪府知事感謝状贈呈..... 1
- 近畿府県合同防災訓練を実施..... 2
- 泉大津フェニックスで野外コンサート開催..... 3
- ちきりアイランド(阪南2区)において干潟見学会が開催されました..... 3
- 第33回大阪府地方港湾審議会を開催..... 4
- 堺第7-3区共生の森づくり活動..... 4
- 岸和田旧港地区で「カンカンキッズ」が開催され、小学生が岸和田水門を訪問しました... 5

EVENT

- 阪南港開港40周年特別講演会を開催..... 6
- 泉大津サマーフェスタ2008..... 6
- 第56回岸和田港まつり..... 7
- 堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました..... 7
- 海上保安庁の巡視船艇による体験航海行事..... 7
- 青少年サマーセミナー2008「船は強いな大きいな～船の丈夫さの秘密～」開催... 8

PORT NEWS

- ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～..... 8
- 平成19年 大阪府営港湾の港勢..... 9

INFORMATION

- 平成20年度理事会・通常総会..... 12
- 大阪府港湾局長感謝状贈呈式..... 12
- 運営委員会..... 12
- 記念講演「最近の経済動向と今後の見通し」..... 13

TOPICS

就任にあたって..... 1
前大阪府港湾協会会長牧野文雄氏に大阪府知事感謝状贈呈..... 1
近畿府県合同防災訓練を実施..... 2
泉大津フェニックスで野外コンサート開催..... 3
ちきりアイランド(阪南2区)において干潟見学会が開催されました..... 3
第33回大阪府地方港湾審議会を開催..... 4
堺第7-3区共生の森づくり活動..... 4
岸和田旧港地区で「カンカンキッズ」が開催され、小学生が岸和田水門を訪問しました..... 5

EVENT

阪南港開港40周年特別講演会を開催..... 6
泉大津サマーフェスタ2008..... 6
第56回岸和田港まつり..... 7
堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました..... 7
海上保安庁の巡視船艇による体験航海行事..... 7
青少年サマーセミナー2008「船は強いな大きいな～船の丈夫さの秘密～」開催..... 8

PORT NEWS

ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～..... 8
平成19年 大阪府営港湾の港勢..... 9

INFORMATION

平成20年度理事会・通常総会..... 12
大阪府港湾局長感謝状贈呈式..... 12
運営委員会..... 12
記念講演「最近の経済動向と今後の見通し」..... 13

就任にあたって

大阪府港湾協会会長 金盛 弥



私は、このたび協会会員の皆様方の暖かいご推挙をいただきまして第5代大阪府港湾協会会長に就任いたしました。

今年は、大阪府港湾協会が昭和38年に設立されてちょうど45周年に当たります。また、府営港湾では、阪南港が開港して40周年、来年には、堺泉北港が開港40周年を迎えますが、このような大きな節目の意義深い時に大阪府港湾協会会長をお受けすることとなり、その責任の重さを痛感しております。

大阪府営港湾は、大阪湾諸港の貨物取扱量全体の約3割を担い、神戸港、大阪港とともに海上物流の拠点として関西の経済産業を支えています。

現在、堺泉北港では、堺2区が関西初の基幹的広域防災拠点として位置づけられ、災害時における支援活動の拠点、被災地への物資の輸送拠点として、ハード・ソフト両面で整備が進められており、さらに堺2区では、シャープの工場が進出し、最先端の大型パネル工場や世界最大規模の太陽電池工場が整備され「21世紀型のコンビナート」が形成されるということで、全国から注目を集めています。

また、阪南港では、「ちきりアイランド(阪南2区)」の第1期製造業用地において、世界有数のチタン製造メーカーである株式会社大阪チタニウムテクノロジーズをはじめ多数の企業進出が決まり、すでに工場等の建設が始まっています。

このように府営港湾は、大阪のみならず関西経済の発展に大きく貢献するとともに安全・安心で利用しやすい港湾として、今日、着実に発展・進化してきております。

これは、港湾管理者である大阪府をはじめ地元市町の皆様方の日頃の取り組みの成果であることはいまでもありませんが、同時にこうした取り組みを側面からサポートし、より一層効果的なポートセールスを展開し、府営港湾の振興発展に寄与するためにも、大阪府港湾協会の役割がきわめて重要であると考えております。

私は、もとより微力ではありますが、職をいただきました上は府営港湾の振興・発展に全力を傾注してまいり所存でございますので、会員の皆様方におかれましては、前会長同様に力強いご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

前大阪府港湾協会会長牧野文雄氏に大阪府知事感謝状贈呈

大阪府港湾協会



今年の総会をもって会長を退任されました牧野文雄氏の長年にわたる港湾行政への貢献に対して、平成20年9月16日、大阪府公館において、大阪府知事感謝状の贈呈式が行われました。

当日行われました贈呈式では、金盛新大阪府港湾協会会長、古川大阪府港湾局長ほか関係者立会いのもと、小河大阪府副知事より牧野氏に大阪府知事感謝状が贈呈されました。

牧野氏は、昭和21年内務技官として任官され、各県の土木行政に携われた後、昭和37年に土木部道路課長、同43年からは土木部長として、大阪府土木行政に精力的に従事してこられました。

また、昭和55年からは、大阪府副知事として府政の推進と府民福祉の向上に努められ、特に港湾行政においては、国際化の進展に対応すべく友好港提携事業に積極的に取り組まれ、昭和57年には、中国江蘇省へ港湾視察団団長として訪中されるなど、港湾の振興発展に大きく貢献されました。

さらに、府営港湾の振興対策を強力に推進し、府の産業経済の発展と府民生活の向上並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与する事を目的として設立された大阪府港湾協会の会長として、昭和63年から平成20年7月に退任されるまで20年の長きにわたり、その豊かな経験と見識をもってリーダーシップを遺憾なく発揮され、港湾関係事業者及び関係市町と連携を図りながら、府営港湾の振興・発展に努めてこられました。

このように、府営港湾の振興に尽力され、とりわけ特定重要港湾「堺泉北港」、重要港湾「阪南港」の発展に貢献された功績は非常に大きいものであります。

当協会といたしましても、牧野氏の長年にわたる協会へのご功勞に感謝の意を表しますとともに、今後ともご壮健にてご活躍されますことをお祈りいたします。

近畿府県合同防災訓練を実施

大阪府総務部危機管理室 消防防災課

大阪府は、9月1日の防災の日に国、近畿の1府7県、大阪府泉南地域の5市3町等との合同により、東南海・南海地震を想定し、岸和田市のちきりアイランド(阪南2区)とその周辺海域、関西国際空港を会場として、自衛隊、消防、警察、海上保安庁の防災機関をはじめ、医療や港湾関係の機関・団体等の参加協力を得て、総合一体的な防災訓練「トータル・リリーフ」を実施しました。

このほか、政府緊急災害対策本部と大阪府災害対策本部が連携し、福田総理大臣と橋下知事による政府支援にかかるテレビ会議を実施したほか、福田総理大臣を長とする政府調査団の被災地受入訓練も実施しました。政府訓練と連携し、東南海・南海地震を想定した訓練を実施するのは初めてです。

主な訓練内容は次のとおりです。

○訓練種目

①陸上訓練

応急架橋訓練、広域応援部隊投入訓練、脱線転覆列車や埋没車両、半壊ビル等からの救出訓練、道路啓開訓練、市街地避難誘導訓練、応急救護所設置運営訓練(広域医療搬送訓練関係を含む)、大型石油タンク火災消火訓練 など

②海上訓練

港湾啓開訓練、漂流者・孤立者救助訓練、応急栈橋設置訓練、救助部隊海上輸送訓練、洋上医務室設置訓練、座礁フェリーからの救出訓練(広域医療搬送訓練関係を含む)、流出油防除訓練、フェリー・大型石油タンク火災消火訓練など
また、訓練のもう一つの狙いである「住民の自助・共助意識の高揚」を図るため、ちきりアイランド(阪南2区)に近接する浜工業公園において、高校生や地域住民等による応急避難所の開設・運営や非常食の炊き出しを行うとともに、起震車による地震動の体験、AEDの操作体験、関係自治体及び防災関連企業による防災展示・防災啓発等を同時に開催し、多くの参加住民で賑わいました。



開会式での福田総理と橋下知事



フェリーからの負傷者救助



海上消火



現場に向かう船舶



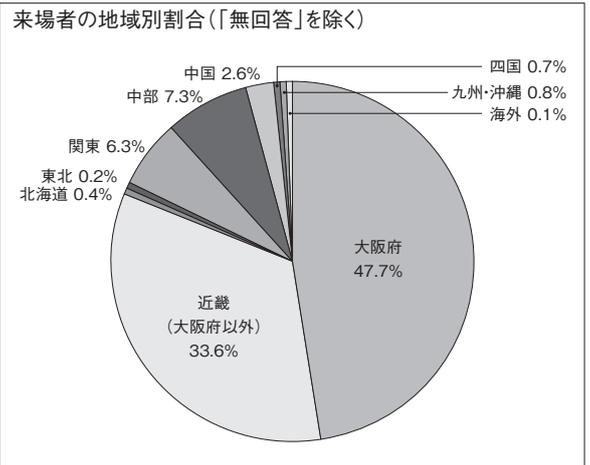
救助のためヘリに乗り込む災害派遣医療チーム(DMAT)

泉大津フェニックスで野外コンサート開催 大阪府港湾局総務部開発調整グループ

港湾局では、堺泉北港におけるにぎわいづくり、また泉大津フェニックスの知名度向上を目的として、平成17年から野外コンサートを誘致・開催しています。

4年目となる今年は、下記の3公演(4日間)が開催され、全国から6万人を越える観客が集まり、大きな盛り上がりを見せました。

8月9日(土)	「AUGUSTA CAMP 2008」	来場者数:18,000人
8月30日(土)・31日(日)	「RUSH BALL 2008」(2日間開催)	来場者数:20,000人(30日) 15,000人(31日)
9月7日(日)	「OTODAMA '08」	来場者数:8,600人



ちきりアイランド(阪南2区)において干潟見学会が開催されました

大阪府港湾局事業管理部建設課・総務部開発調整グループ

岸和田市にある埋立地、ちきりアイランド(阪南2区)の人工干潟において、8月29日(金)に大阪湾フェニックスセンター主催の干潟見学会が開催されました。一般公募の子どもたちが保護者と共に合計約30名集まり、ハクセンシオマネキなどふだん見ることのできない珍しい生物や自然を満喫しました。

また、9月には大阪府港湾局が岸和田市等関係機関の協力をうけ、市内の小学生約120名に対して、課外授業の一環としての干潟見学会を開催しました。

- ・9月10日(水)中央小学校
- ・9月12日(金)山滝小学校、東葛城小学校
- ・9月24日(水)浜小学校

ヤドカリやカニ、中にはヒトデやクルマエビを見つけだす児童もおり、干潟ならではの自然とふれあっていました。また、実際に訪れることで埋立地や人工干潟への理解も深まり、児童たちにとって貴重な体験となりました。

8月29日(金)干潟見学会



小学生干潟見学会



第33回大阪府地方港湾審議会を開催

大阪府港湾局企画部

平成20年9月5日、第33回大阪府地方港湾審議会がホテルプリムローズ大阪において開催されました。第1号議案「会長の選任について」は、委員の互選により、黒田勝彦委員（神戸市立工業高等専門学校校長、神戸大学名誉教授）が会長に選出されました。第2号議案「堺泉北港港湾計画の軽易な変更について」は堺泉北港港湾管理者から諮問され、審議の結果、諮問内容が適当である旨の答申がなされました。

また、大阪府港湾局より、「府営港湾における最近の動向」、「委員報酬及び費用弁償の改正」について報告が行われました。



堺第7-3区共生の森づくり活動

大阪府港湾局企画部計画課

大阪府港湾局では環境農林水産部と連携し、堺泉北港の堺第7-3区の産業廃棄物処分場跡地に、府民・企業・NPO・行政が力を合わせて、100年かけて100haの「共生の森」づくりに取り組んでいます。「共生の森」では、産業廃棄物の受け入れを終了した平成16年より植栽及び草刈りイベントの開催等により森づくりを推進しています。「共生の森」づくり活動の一環として、平成20年7月20日(日)に約130名参加のもと、現地で草刈り活動を行いました。当日は、夏真っ盛りの気候となりましたが、苗木たちが生い茂る草に負けて枯れたりせず元気に成長できるように、平成20年2月に植えた植樹場所を中心に、草刈り作業を行いました。

開会式の様子



集合写真



草刈前



草刈後



岸和田旧港地区で「カンカンキッズ」が開催され、小学生が岸和田水門を訪問しました

大阪府港湾局総務部総務グループ

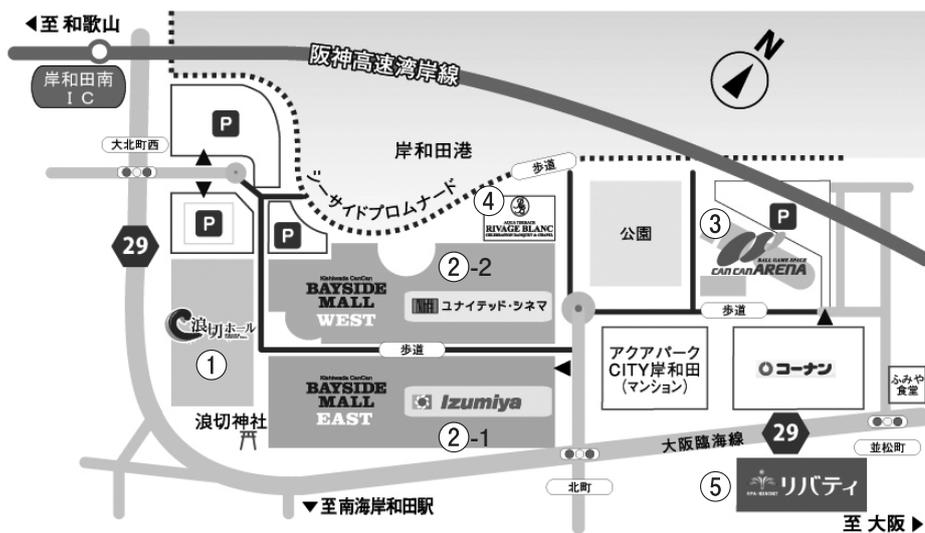
「カンカンキッズ」は、岸和田旧港地区の関係団体・企業で構成する港緑振興会が、「岸和田市や近隣市町村の子供たちに、旧港地区の施設の裏側を、見学・体験することによって、各施設の成り立ちを学び、各分野への関心を高めてもらう」ことを目的として、平成19年度に続き実施するイベントです。

イベントの一環として、8月25日に小学生55人が岸和田水門を訪問しました。

普段は入れない操作室を見学したり、巨大な水門を真下から眺めたり、水門に関するクイズに答えたりして、おおいに盛り上がりました。



岸和田水門



- ① 浪切ホール
- ② 岸和田カンカンベイサイドモール
 - ②-1 イズミヤ西岸和田店
 - ②-2 ユナイテッドシネマ岸和田
- ③ カンカンアリーナ(テニスコート)
- ④ アクアテラスリヴァージュブラン(ウェディング)
- ⑤ リバティ(スパ)
- ⑥ 海上保安庁体験学習～巡視船『あやめ』乗船



岸和田水門が作られたわけや、水門の大きさ、重さなどを、水門がしまるようすを映したビデオを使いながら説明しました。

ふだんは見られない方向からの岸和田カンカンベイサイドモールを背景に、記念写真をぱちり！



阪南港開港40周年特別講演会を開催

阪南港港湾振興連絡協議会

昭和43年4月に忠岡港、岸和田港、貝塚港の三港が、阪南港として統合されて、今年で40周年を迎えました。これを記念して去る8月25日、阪南港港湾振興連絡協議会が主催して、阪南港の振興を図ることを目的に、海洋冒険家 白石 康次郎 氏を招き、「七つの海を越えて一港の重要性」をテーマに講演会を開催しました。また、阪南港の歴史・役割について理解を深めていただくため、会場内に阪南港に関するパネルの展示も併せて実施しました。

当日は、平日にもかかわらず、140名を超える府民の方々のご参加があり、地元岸和田市立春木中学校吹奏楽部のブラスバンド演奏や白石 康次郎 氏の実体験に基づいた講演にみなさん熱心に聴き入っていました。

当協議会では、開港40周年を迎えた阪南港の利用促進及び振興を図るため、様々な活動を実施していきますので、今後ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

日 時：平成20年8月25日(月)午後1時30分～午後4時

場 所：浪切ホール 小ホール(岸和田市港緑町1-1)

講 師：海洋冒険家 白石 康次郎 氏

内 容：「七つの海を越えて一港の重要性」



泉大津サマーフェスタ2008

泉大津港湾振興会

関西国際空港の開港により誕生した、泉大津市なぎさ町の「きららタウン泉大津」を“人と人のふれあいの場”として広く市民にPRするために、各種機関、市民団体による手づくりのイベント「泉大津サマーフェスタ2008」が今年も7月20日に開催され、約20,000人が参加し、本振興会も協力いたしました。

真夏の強い日差しの下、オープニングセレモニーによりサマーフェスタ2008がはじまり、メインステージでは、いずみ太鼓の鼓聖泉、大阪府警察音楽隊の演奏、また、泉大津バトクラブによるバトトワリング、梅花女子大学チアリーディング部による演技等が行なわれました。また、展示・体験コーナーでは、子どもに人気のある、白バイ・パトカーとの記念撮影、泉大津市消防本部の高所放水車への搭乗体験が行なわれ、手作り体験コーナーでは、丸太切りやプラ板作り、そして降雪車が登場し、真夏の雪遊びを行いました。

海上イベントとして、堺海上保安署の協力を得て、船舶火災等に活躍している巡視船「かいりゅう」による放水展示と第8回Eポート交流大会が開催されました。EポートのEとは、エコロジー(環境)やエクスチェンジ(交流)などの英語の頭文字から名付けられたそうです。

Eポート交流大会は、泉大津旧港内において行なわれ、1艇につき10名乗り、100mコースを折り返す200mをタイムで競うレースです。

今年は、大人の部14チーム、子どもの部15チームが参加し、各チームとも応援団の大声援を受けて、シミュレーションどおりに、まっすぐに進むチームやコースをはずれて大きく旋回するチームがあるなど白熱した大会となりました。

優勝は、大人の部「SKYFISH」、子どもの部は、「宇多連合ソフトボール」チームでした。

本振興会は今後も、各団体と連携をして、市民が海や港に親しみ理解を一層深めていただく機会を設けるとともに、堺泉北港の振興を通じて各企業の発展に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。



第56回岸和田港まつり

岸和田港振興協会

今年で56回目を迎えた岸和田港まつりは、7月26日(土)に花火大会、8月2日(土)に巡視船体験航海が行われました。

7月26日(土)は朝から港まつりの無事を祈って、浪切神社で安全祈願祭が行なわれました。花火大会は、岸和田市民のみならず市外からもたくさんの方が来場され、賑わう岸和田の夏の風物詩でもあり、今年も打ち上げの時間が近づくと、たくさんの観覧客で賑わいました。岸和田の港の夜空に1時間にわたって打ち上がる約1500発の花火に、観覧客から多くの歓声がわきおこり、その迫力と美しさに魅入っていました。

8月2日(土)に行われた巡視船体験航海では、海上保安庁の協力により、朝は巡視艇「あやめ」と「しぎかぜ」に、昼からは巡視船「くわの」に乗船し、たくさんの岸和田市民が航海を満喫しました。航海は、阪南港を出航後、関西国際空港連絡橋をくぐり抜け、間近で離着陸する飛行機を臨み、二色浜海水浴場やちきりアイランド(阪南2区)の沿岸を周遊しました。また体験航海会場では、海上保安庁の活動を記録したパネル展示や、制服を着用できるコーナーもあり、子供たちは未来の海上保安庁職員になりきって、おもいおもいのポーズをとっていました。

岸和田港振興協会では、港と海への関心を高め、港湾の振興を図ることで、多くの方に港や海の素晴らしさを伝えていきたいと考えております。今後とも岸和田港まつりを続けてまいりますので、引き続き関係者の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました

堺港湾振興会

平成20年7月31日(木)、堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が堺市堺区大浜公園で開催され、浴衣姿の来場者など約21万人で賑わいました。

大魚夜市は700年前、周辺地域の漁師が「航海の神」「漁業の神」として信仰していた住吉大社(大阪市住吉区)に豊漁と航海の安全を祈念し魚を奉納した際、同時に新鮮な魚を一般客に向けて売り始めたのが起源といわれ、毎年7月31日に開催されています。

19時からスタートした目玉の魚セリには29団体(計30台)が参加。約100メートルにわたって並べられた魚セリ台の上からは「安いで、買ってや、買ってや!」と威勢のいい掛け声が飛び交い、タイやサザエ、カニなどの新鮮な海産物があつという間に売り切れました。

会場では堺東高校の生徒らが企画・出演する「ゆかたまつり」や歴史色豊かな「包丁式」「古式セリ」、地元企業・団体等による「PRブース」、懐かしい夜市の様子を集めた「昔の夜市写真展」など、お子様からお年寄りまで楽しめるイベントが繰り広げられ、平日の夜とは思えない熱気に包まれました。



海上保安庁の巡視船艇による体験航海行事

貝塚港湾振興会

平成20年8月3日(日)、海上保安庁より巡視船「くわの」及び巡視艇「あやめ」、「しぎかぜ」の派遣を受け、公募による市民が体験航海を満喫しました。

保安官管理の下、船内設備を触らせてもらった子ども達は、興奮気味に目を輝かせていました。また、目の前で繰り広げられた迫力溢れる巡視艇の高速船隊運動には参加した市民から大きな歓声がおこりました。

さらに、岸壁では、海上保安庁の制服試着コーナーやパネル展示があり、制服を着た子どもの写真をとる家族連れで大いに賑わいました。

参加者総数は342名で近畿運輸局・大阪府港湾協会・大阪府(社)近畿海事広報協会・(財)大阪港湾福利厚生協会・貝塚市から後援をいただきました。



青少年サマーセミナー2008「船は強いな大きいな～船の丈夫さの秘密～」開催 大阪府立大学第17回青少年サマーセミナー実行委員会

大阪府港湾協会の後援により、本年も去る8月21日(木)、22日(金)の両日、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて、「青少年サマーセミナー2008」が開催されました。例年通り募集人数を超える多数の申し込みがあり、小学校高学年を中心として81名の参加がありました。

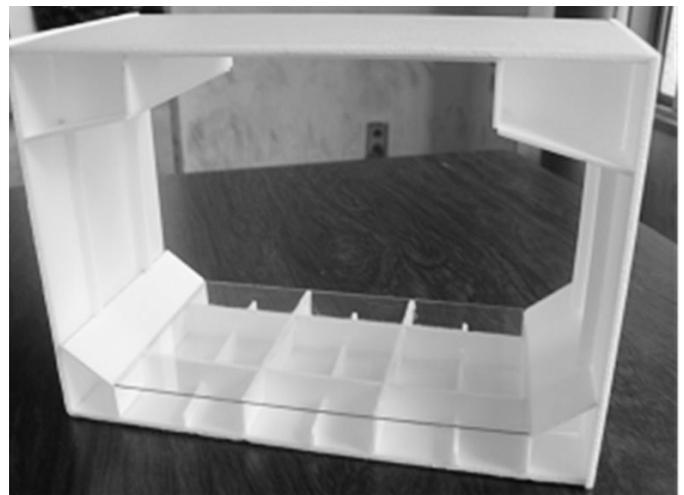
今年は、「船は強いな大きいな～船の丈夫さの秘密～」と題して、大きな船が波の力に耐えながらたくさんの荷物を運べるように、その構造が工夫されていることを、クイズや実験を通して学びました。皆さん、全長が200mを超えるような船を、全長20cm程度の模型に縮めたら、船の外側の鉄板の厚さがアルミ箔ぐらいになってしまうってご存知ですか?こんな薄っぺらでも壊れないように工夫がされています。

午前中の実験では、同じ重さのアルミ箔で船を造り、たくさんの荷物を乗せるには薄く大きくする必要があること、そうすると荷物の重みで船が曲がってしまうことを体験し、それを防ぐための梁の取り付け方の工夫を行いました。午後からの工作では、船の断面模型を作成し、さらにパラフィンでできた板を一定のルールの下、出来るだけ大きな荷重に耐えられるように工夫しコンペを行いました。

17回目となった青少年サマーセミナーですが、今年も子どもたちの笑顔と共に無事終了することができました。本会の開催にあたりご尽力いただいた関係各位に本誌面をお借りしてお礼申し上げます。



梁の強さの実験



船の断面模型の完成!

PORT NEWS

ポートニュース

ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 大阪府港湾局総務部振興グループ

大阪府では、府営港湾の公共ふ頭に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興協会と協力して初入港の歓迎セレモニーを行っています。

APPOLO PROGRESS (8,714総トン)

平成20年7月27日(日)

堺泉北港汐見埠頭3号岸壁Aバース

本船はこの度堺泉北港に初入港した貨物船で、マレーシアから輸入された合板を荷揚げし、名古屋港に向けて出港しました。



平成19年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)

大阪府港湾局総務部施設運営グループ

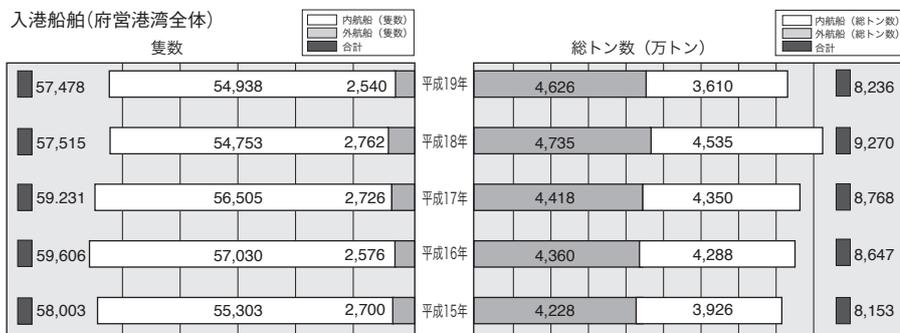
●府営港湾全体

大阪府が管理する8港のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(平成19年1月～12月)をとりまとめました。

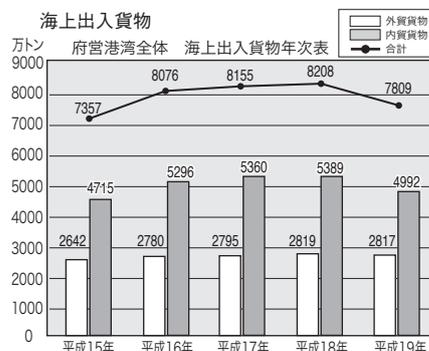
入港船舶数は、外航船が2,540隻、内航船が54,938隻で、合計57,478隻となっています。

取扱貨物量は、外貨が約2,817万トン、内貨が約4,992万トンで、合計約7,809万トンとなっています。

入港船舶(府営港湾全体)



海上出入貨物



●堺泉北港

◎全体

入港船舶数は、外航船が2,351隻、内航船が35,010隻で、合計37,361隻です。

取扱貨物量は外貨が約2,765万トン、内貨が約4,664万トンで、合計約7,429万トンです。

主要品種は、原油、完成自動車(フェリー含む)、鋼材、LNG(液化天然ガス)、石油製品となっています。

◎公共

主要品種は、外貨の輸出では完成自動車、金属くず、鋼材で、輸入が鋼材、木製品、非金属鉱物です。内貨の移出では、完成自動車(フェリー含む)、その他輸送車両、砂利・砂で、移入は、完成自動車(フェリー含む)、砂利・砂、鋼材、です。

泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約15万人、上陸が約15万人で、合計約30万人が利用しています。

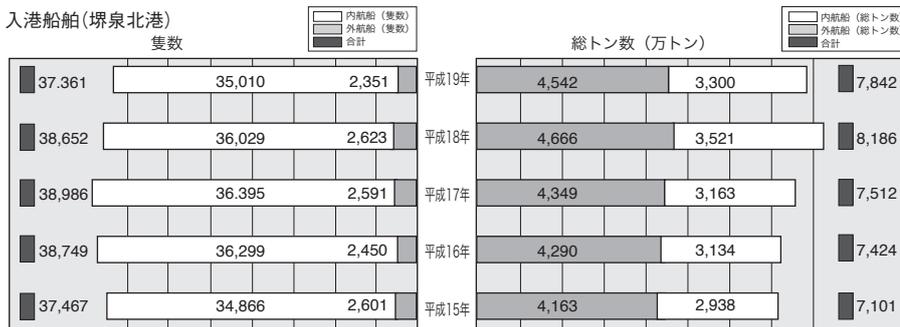
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(外貨)

順位	輸 出		輸 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	完成自動車	996	原油	11,450
2	石油製品	829	LNG(液化天然ガス)	7,858
3	化学薬品	582	石油製品	1,563
4	金属くず	218	LPG(液化石油ガス)	1,356
5	鋼材	133	鋼材	774

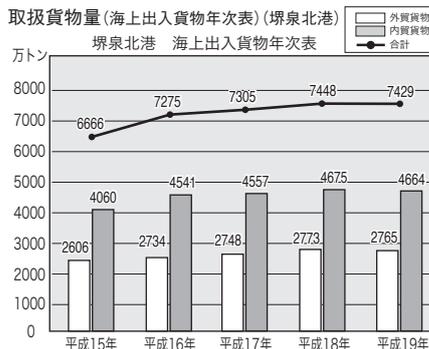
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(内貨)

順位	移 出		移 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	完成自動車	6,725	完成自動車	7,206
2	重油	3,493	原油	5,636
3	鋼材	3,077	鋼材	4,868
4	石油製品	2,645	砂利・砂	2,438
5	化学薬品	1,034	石油製品	2,243

入港船舶(堺泉北港)



取扱貨物量(海上出入貨物年次表)(堺泉北港)



●阪南港

入港船舶数は、外航船が189隻、内航船が7,399隻で、合計7,588隻です。

取扱貨物量は、外貿が約53万トン、内貿が約146万トンで、合計約198万トンです。

主要品種は、外貿が原木、木材チップ、金属くずで、内貿が砂利・砂、鋼材、石油製品です。

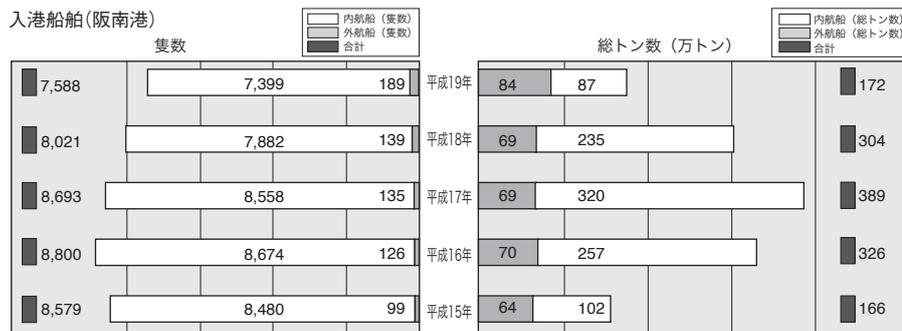
阪南港 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出		輸 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	金属くず	68	原木	184
2	鋼材	43	木材チップ	183
3	砂利・砂	14	鋼材	13

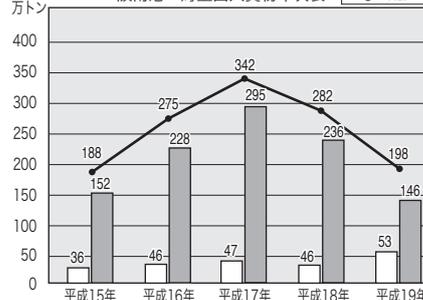
阪南港 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出		移 入	
	品種名	貨物量(千トン)	品種名	貨物量(千トン)
1	原木	57	砂利・砂	493
2	再利用資材	27	石油製品	222
3	砂利・砂	17	鋼材	216

入港船舶(阪南港)



取扱貨物量(海上出入貨物年次表)(阪南港)



●深日港

入港船舶数は54隻、総トン数は約1,026トン、全て係留船でした。関西国際空港の二期工事の終了に伴い、取扱貨物量等も減少しました。

●尾崎港・泉州港・泉佐野港

尾崎港

入港船舶数は4,020隻、総トン数は約3万トン、取扱貨物量は129トンで水産物を扱っています。

泉州港

入港船舶数は8,101隻、全て内航船です。客船がほとんどで、7,766隻と全体の96%を占めています。乗降人員は下表のとおりです。取扱貨物量は移入が159万トンで、航空機燃料である石油製品を扱っています。

泉州港 客船乗降人員(人)

航 路	平成19年			平成18年		
	乗 込	上 陸	合 計	乗 込	上 陸	合 計
関空～洲本	9,128	8,746	17,874	41,726	40,557	82,283
関空～神戸	139,395	146,225	285,620	—	—	—

※関空～洲本航路は平成19年5月より休航になりました。

泉佐野港

平成10年から淡路島(津名)との間に就航していたフェリーは、平成19年2月より休航になりました。

入港船舶数は354隻、総トン数は約57万トンです。取扱貨物量は23万トンです。主要品種の完成自動車(フェリー)が99%を占めています。フェリーの乗降人員は、乗込が約5千人、上陸が約6千人併せて約1万1千人です。

泉佐野港 フェリー乗降人員(人)

航路	平成19年			平成18年		
	乗込	上陸	合計	乗込	上陸	合計
泉佐野～津名	5,156	5,634	10,790	62,764	74,843	137,607

●港別入港船舶及び海上出入貨物状況

港名		入港船舶		取扱貨物量	取扱貨物量の内訳					
		隻数	総トン数		外 貿			内 貿		
					計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
堺泉北港	全 体	37,361 (626)	78,420,574 (8,860,418)	74,289,363 (12,436,675)	27,647,991 (-)	3,017,817 (-)	24,630,174 (-)	46,641,372 (12,436,675)	19,548,061 (6,257,460)	27,093,311 (6,179,215)
	うち 公 共	8,093 (626)	25,524,486 (8,860,418)	20,587,330 (12,436,675)	3,176,895 (-)	1,383,762 (-)	1,793,133 (-)	17,410,435 (12,436,675)	7,847,462 (6,257,460)	9,562,973 (6,179,215)
阪南港	全 体	7,588	1,715,796	1,983,274	525,911	132,276	393,635	1,457,363	123,535	1,333,828
	うち 公 共	7,171	1,359,585	1,591,347	525,911	132,276	393,635	1,065,436	114,328	951,108
深日港	全 体	54	1,026	-	-	-	-	-	-	-
	うち 公 共	54	1,026	-	-	-	-	-	-	-
尾崎港	全 体	4,020	32,160	129	-	-	-	129	-	129
	うち 公 共	4,020	32,160	129	-	-	-	129	-	129
泉州港	全 体	8,101	1,625,871	1,587,584	-	-	-	1,587,584	-	1,587,584
	うち 公 共	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泉佐野港	全 体	354 (308)	569,330 (553,168)	230,755 (229,535)	- (-)	- (-)	- (-)	230,755 (229,535)	121,625 (120,405)	109,130 (109,130)
	うち 公 共	354 (308)	569,330 (553,168)	230,755 (229,535)	- (-)	- (-)	- (-)	230,755 (229,535)	121,625 (120,405)	109,130 (109,130)
合 計	全 体	57,478 (934)	82,364,757 (9,413,586)	78,091,105 (12,666,210)	28,173,902 (-)	3,150,093 (-)	25,023,809 (-)	49,917,203 (12,666,210)	19,793,221 (6,377,865)	30,123,982 (6,288,345)
	うち 公 共	19,692 (934)	27,486,587 (9,413,586)	22,409,561 (12,666,210)	3,702,806 (-)	1,516,038 (-)	2,186,768 (-)	18,706,755 (12,666,210)	8,083,415 (6,377,865)	10,623,340 (6,288,345)

注: 下段は内数公共。()内は、フェリーを表す。

●平成20年度理事会・通常総会

平成20年7月28日(月)リーガロイヤルホテル堺において大阪府港湾協会第59回理事会及び通常総会を下記のとおり開催いたしました。

なお、本総会において、長年にわたり会長を務めていただいていた牧野文雄氏が会長を退任され、新しく元大阪府副知事の金盛 弥氏が会長に就任されました。

- 1 開会挨拶 牧野文雄会長
- 2 来賓祝辞 国土交通省近畿地方整備局長(代理：副局長 森川 雅行)様
近畿運輸局長(代理：海事振興部調整官 谷野 雅彦)様
大阪海上保安監部長 小森田 重寿 様
大阪税関長 濱田 敏彰 様
大阪府港湾局長 古川 博司 様
- 3 来賓紹介・祝電披露
- 4 議 事 (議長：西岡 直也 山九株式会社泉北支店長)
第1号議案：平成19年度事業報告並びに収支決算報告について
第2号議案：平成20年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
第3号議案：役員改選について

以上、第1号から第3号議案について各々審議を行い、原案どおり可決承認されました。
その他：報告事項



●大阪府港湾局長感謝状贈呈式

とき：平成20年7月28日(月) ところ：リーガロイヤルホテル堺 3階「橘の間」 主催：大阪府港湾局

港湾振興に功績のあった個人に対して、古川港湾局長から感謝状の贈呈が行われました。

また、感謝状を受けられた方々に、大阪府港湾協会総会後の交流会において、金盛大阪府港湾協会会長より記念として舵輪楯が贈られました。

●柳曾 健二 氏

岸和田港の振興対策を推進し、岸和田市及び泉州一帯の産業経済並びに文化の発展に寄与する事を目的に設立された岸和田港振興協会の副会長を平成15年度から務められ、岸和田港まつり花火大会・巡視船体験航海や港湾美化啓発活動等、同協会事業に尽力され、その重責を果たす。

また、岸和田商工会議所会頭として、ちきりアイランド(阪南2区)の企業誘致にもご努力いただき、阪南港における商工業の発展及び経済の活性化並びに港湾振興に多大な貢献。

●高田 利夫 氏

20年間の長きにわたり、港や海洋環境問題を考える社会見学の一環として、堺市内の小学校児童を対象に自ら所有する漁船で体験学習のボランティア活動に取組まれ、堺港湾振興会主催の堺港まつりにおいても、出島漁港「とれとれ市」の会場を提供し、市民が海に親しむ場としての港まつりに積極的に協力するなど同振興会事業に多大な貢献。

また、平成19年度の堺泉北港港湾振興連絡協議会の振興事業においても堺泉北港船上見学クルージングの実施に積極的に協力され、堺泉北港の港湾振興にも大きく貢献。



●運営委員会 <第2回>

日時：平成20年9月26日(金) 10:10～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階
201・202号室

議事：(1) 平成20年度在阪国家機関等に対する
要望等について

(2) 先進港湾視察の実施について

(3) 大阪府港湾協会の公益法人化の検討について(報告)

(4) その他 ・2008年中国ポートセールス団派遣事業

・堺泉北港クルージング～泉大津フェニックスの
バス見学と堺泉北港船上見学

記念講演「最近の経済動向と今後の見通し」

講師：りそな総合研究所(株) 主任専門研究員 荒木 秀之 氏



平成20年7月28日(月)、リーガロイヤルホテル堺において、大阪府港湾協会平成20年度通常総会が開催されました。

記念講演として、りそな総合研究所(株)主任専門研究員 荒木秀之氏を講師としてお招きし、「最近の経済動向と今後の見通し」と題し、基調講演を行っていただきました。約1時間にわたる講義は、参加者のみなさんにとって有意義なものとなりました。

<講演要旨>

昨今、サブプライム問題が最大の関心事かと思いますが、この週末にも2社の金融機関が破綻をしております。都合7つ目の破綻ということでまだまだ底が見えないという状況でございます。

サブプライム問題とは、もともとどうということかと申しますと、言葉のとおり低所得者向けの住宅ローンということで返済の延滞率が増えたり、貸し倒れが増えたりということですが、今、アメリカでは住宅ローンが約12兆ドルあると言われております。そのうちの1割がサブプライムローンであるということです。

さらに、サブプライムローンの中の2割が延滞状態にあるということです。現在、その割合が高まりつつあります。

その2割が、どれほど厳しいものかと申しますと、アメリカではサブプライムローンと比較して「プライムローン」というものがあるわけなのですが、これは、優良な債権ということで、金利も低いわけなのですが、延滞率が約3%ということで(サブプライムローンと比較して)約7倍ということになっております。

サブプライムの経緯を説明しますと、2001年4月に、ITバブルの崩壊でナスダックが急落したほか、同時多発テロによってアメリカの景気が深刻な後退懸念に襲われました。

その結果、アメリカの通貨当局が当時、1年間で(政策)金利を6.50%から1.75%まで引き下げました。かなりの金融緩和措置を行ったわけです。それによって、景気の後退懸念は払拭されたのですが、代わりに住宅バブルが生まれたということです。

さらに、2004年11月の大統領選挙に伴って「低所得者向け住宅購入支援策」が出され、ダメを押しした状態になりました。

その後、住宅価格が高騰し、それ以外の物価も上昇したことで、通貨当局は5.25%もの利上げに移ります。

政策金利の上昇によって、民間金利、住宅金利も上昇しますので、サブプライムローンの貸し倒れが増加してきたわけです。

ついには2007年8月に「パリバショック」と言われる、フランスの大手BNPパリバ証券が傘下のファンドを凍結する事態となります。これで投資家に対する返金や解約がストップされたことにより、世界株安の引き金になり、サブプライム問題の不安が一気

に高まったわけです。その流れの中で、メリルリンチ、シティグループのCEOが辞任し、ベアスターン証券が破綻しました。

足元では、先々週位にインディマック・バンコープという住宅ローンの大手会社が倒産したのですが、こちらの扱っている金融商品が、サブプライムではなくて、一段上の優良な住宅ローンであったため、ついに、サブプライムの余波が優良な金融商品にまで広がってきていると考えられます。

その結果、日本の住宅金融公庫に該当します「フレディマック」などの政府系金融機関にまで経営不安が広がっております。

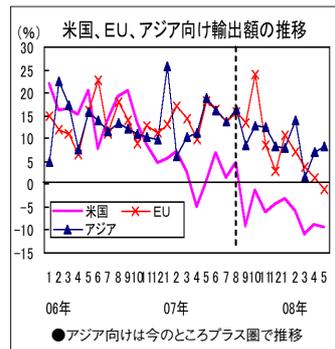
そこで、サブプライムの影響が世界にどのように及んでいるのかを見ますと、IMFの7月時点の見通しによれば、アメリカの経済成長率は、2006年2.9%、07年2.2%、08年1.3%、09年0.8%となっておりますが、アメリカの景気刺激策としてかなりの規模の減税策が実施されているため、4月時点に比べて予測値の引き上げがなされています。

また、中国の経済成長率も6年ぶりに2桁成長割れ(2008

年予測値:9.7%)となるなど、ここにもサブプライムの影響が現れているわけです。

一方、インフレの予想については、先進国(平均)3.4%、新興国(平均)9.1%(両方とも、2008年の予測値)となっており、インフレの影響については、新興国の方が大きくなっております。つまり、原油を中心とした素原材料の上昇が、生活必需品の高騰をもたらし、高所得者よりも低所得者に対する影響が大きいことを表しています。

当初は、アメリカ経済が減速しても、新興国の経済成長で世界経済への影響は小さいと思われていましたが、現在、日米欧で世界のGDPの7割を占めるのに対し、BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)を集めても1割に過ぎない。1割に過ぎないBRICsには、世界経済を牽引するほどの力はまだないの

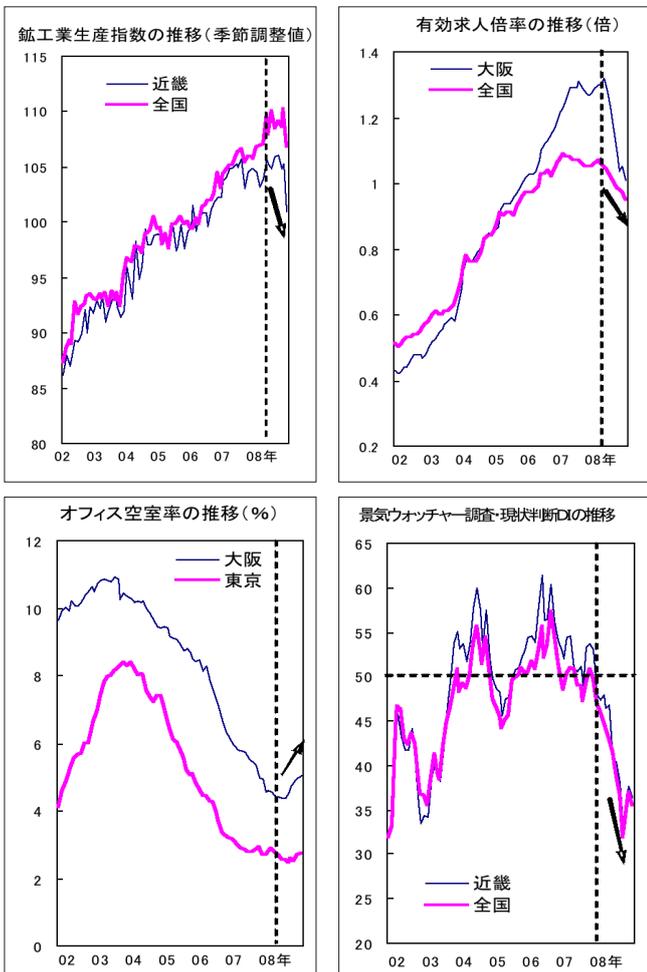


ではないかと考えられます。

一方、日本経済への影響を見ますと、夏以降は米国向け輸出はマイナスで推移しているほか、原油高、為替レートの円高傾向で企業収益が減少傾向にあります。原油相場はパブリックショック以降、一本調子で高くなっており、原油自体の実需よりも、金融商品としての上昇圧力によるものです。原油相場の指標であるWTI(West Texas Intermediate)の市場規模が10兆円、対して世界のヘッジファンドを集めると200兆円もあるわけです。つまり、ヘッジファンドの動向一つで原油相場が大きく動くため、プラス、マイナスのどちらにも大きく振れやすくなっています。今後はどちらかというと、新興国による需要が増えていく中で原油相場は高くなる傾向にあると思われます。

円・ドル相場も多少円安傾向にはなりましたが、1ドル110円以下ということはまだ円高圏内にあります。しかし、アメリカの政府系住宅金融機関の信用不安が一層増加すれば、1ドル100円割れ、1ドル90円台に突入することもあり得ます。ただし、米国の為替介入があれば、円安方向にふれていくこともあります。見通しは困難ですが、個人的には一時的に円高になる局面はあっても、長期的には円安方向に進むと思われます。

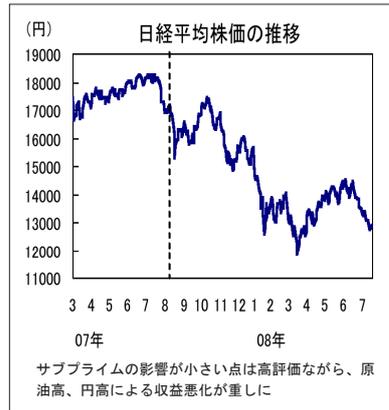
次に日本の景気について公的機関の見解を見ますと、まず、政府「月例経済報告」(7月)によれば、「景気回復は足踏み状態」にあり、いわゆる「踊り場を過ぎれば景気は上向く」としております。一方、日銀は(今年度は)「さらに減速している」が、「来年度は回復に向かう」とみており、原油を中心とした



※全国は05年=100、近畿は00年=100 ※景気横ばい=50

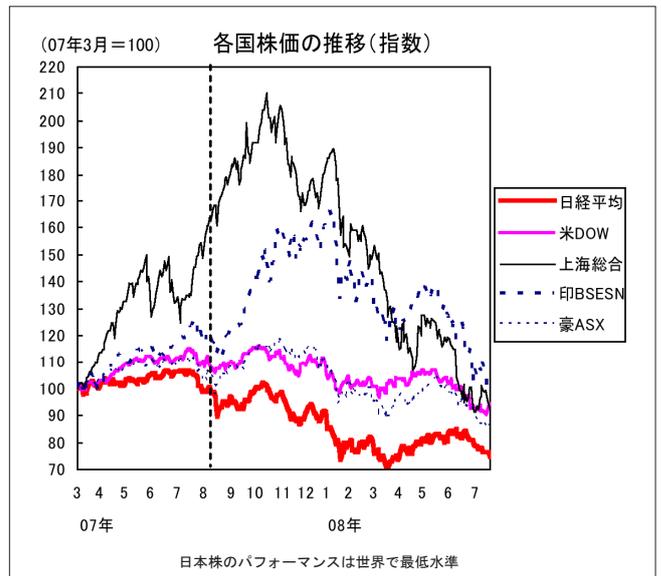
資源高が落ち着いて、企業収益も持ち直すとしております。

これに対して、我々民間シンクタンクでは、昨年後半、又は年末に後退局面に入ったのではないかと考えております。



例えば、様々な統計で傾向の変化がみられます。中でも求人動向については、中小企業の求人が減少しているほか、自主退職による失業が減り、事業主都合によるリストラが増えています。さらに、年金、社会保障などの将来不安により、高齢者の職探しも増えているなど、かなり傾向が変化しています。

バブルの頃を振り返っても、公式な景気後退の発表は実際の1年遅れでしたので、今回もそうなるもおかしくないと考えています。



次に金融市場の動きを見ますと、株価はアメリカの金融不安、原油高に伴う企業収益の悪化懸念等により、かなり下がってきております。

一方で金利動向ですが、マーケットでは今年度末までに政策金利の利上げが予想されています。今は0.5%ですので、年度末までに0.75%になるということです。消費者物価指数は約2%にまで上昇しておりますが、食品、ガソリン、電気・ガス料金などの生活必需関係が中心で、生活者に対する値上げ感が大きくなってきています。そのため、スーパー、外食産業の売り上げにも影響してきております。

消費者物価の話が出ましたので、次に世界経済におけるインフレ圧力について、お話したいと思います。

日本は物価上昇率が2%前後ですが、世界では発展途上国を中心に高く、ベトナムでは前年比で2割を超えています。ベトナムは原油を輸入に頼っているため、相場の上昇をもろに受けています。

昨今のインフレの問題点ですが、景気減速面でのインフレ、つまり、スタグフレーションとも呼ばれますが、単純に金利を上げれば収まるものではありません。

一般的に「利上げ」というのは「経済のブレーキ」を踏むという行為ですので、インフレを気にし過ぎて利上げをしてしまいますと、景気を冷やし過ぎかねないということで、諸刃の剣と呼ばれています。現在、世界経済はかなり難しい局面にさしかかっているわけです。

さらにベトナムでは、今、貧困層が国民の3割を占めると言われています。食品、ガソリンといった生活必需品の高騰がそういった階層の人々の生活を直撃していますので、経済成長の足をひっぱるのではないかとというのが大きな見方です。

次に、今後の景気の先行きについてですが、2007年度の実質経済成長率は1.3%でしたが、08年度については日銀が1.2%、政府が1.3%と予測しております。私もおそらくその水準になるのではないかと考えております。

関西については、大阪湾岸地域への大規模投資による底上げがありますので、2%前後の成長が見込まれています。ただし、原油高、円高傾向による企業収益の悪化も進んでいくなかで、これまでと同様に実感には乏しいと考えられます。

ここで考えてみますと、2002年から6年間景気拡大が続きましたが、海外への輸出は増加しても、国内消費が一向に増えませんでした。今後についても国内消費が増加するかどうか大きな懸念材料ですが、我々は輸出が増加しても、消費は増えないのではないかと考えています。

そこで、今後の経済成長に向けての戦略について考えてまいりたいと思います。1つは株価対策として、株価を上げて個人資産の増加による消費の拡大を図るべきだと思います。トヨタを擁する東海地域ですら、今回の景気回復で国内消費は伸びていないわけですから、輸出の増加による景気拡大よりも、消費を増やす政策が必要であると思います。これは、金持ち優遇策との批判もございますが、消費が連鎖的に増えることで雇用の安定につながることを考えれば、一部の階層に対する優遇策だけではないと考えています。ドイツやフランスでも、一定条件の下で税制上の優遇措置が設けられています。

さらに、大企業による従業員への利益還元も必要と考えています。資本金10億円以上の企業でみれば、90年代後半以降は従業員給与がほとんど増えておりません。今回の景気回復では、企業全体の利益が大企業に集中しているに

もかわらず、大企業で給料が増えなかったことで個人消費も伸びなかったと考えられます。従って、大企業には利益を少しでも従業員に分配し、消費の拡大につながるようにしていただきたいと思います。

例えば、仮に上場企業が経常利益の10%を社員に還元すれば、家計所得を約4兆円引き上げる効果があると言われています。

また、日本企業の場合、製薬会社や自動車会社を中心に配当性向が非常に高いわけですが、アメリカでは上場企業の8割が無配です。株価対策も必要ですが、社員さんへの分配についてもぜひともご配慮いただきたいと思います。

次に、国としての戦略を考えてみたいと思います。まず、日本版SWF(Sovereign Wealth Fund:政府系ファンド)の創設が挙げられます。現状、米国債で運用している日本の外貨準備金(約100兆円)や年金積立金(約150兆円)について、諸外国並みの運用を行い積極活用する。それによって資産を増やし、成長分野への投資資金などに活用することで、経済を活性化させるべきだと思います。現状では、年金積立金の過去5年間の平均収益率は3.5%と低いわけですが、オランダで7.2%、カナダで9.1%、フランスでは10.5%もの運用実績を上げております。

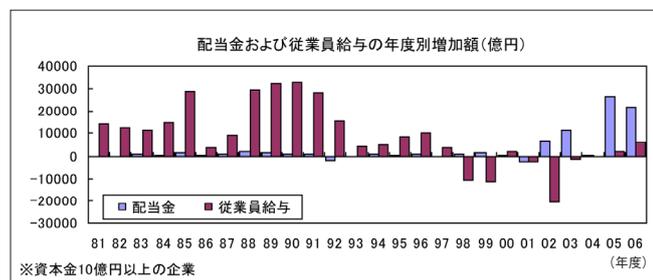
さらに、観光収入の引き上げも必要と考えております。観光戦略と言えは言い古された感もあるわけですが、諸外国と比較をしますと、日本の国際観光収入は1.2兆円と、米国の8.2兆円、中国の3.1兆円と比べても見劣りします。この問題点として、日本は国際観光客到着数が約670万人(2005年データ)とかなり少ない。今後は、お隣の中国など海外向けのPRを官民あげて行うほか、観光地の外国語表示などのインフラ整備が必要と考えています。

さらに、観光について詳しく見ていきますと、最近アジアからの観光客が増加しておりますが、以前よりもお金を持った人が増えています。しかも彼らの旅行目的の多くは買物ということですから、これは大きなチャンスであると思います。

以上のように、輸出企業による景気回復だけでなく、いろんな方策でもって所得を増やしていくという取組みが必要であろうと思います。

続きまして、景気から離れまして、人口問題、格差問題について、見ていきたいと思ひます。

まず、人口問題ですが、国立社会保障・人口問題研究所によりますと、2035年の人口減少が比較的小さいのは、近畿では滋賀県となっております。理由としましては、大阪・京都からの人口移動がかなり進んでいるためです。さらに関空、名古屋空港にもアクセスがよく、工場を含めた企業立地が進んでいることも、その要因として挙げられます。一方、京都、大阪、兵庫の三府県は、全国以上に人口が減少すると予測されています。これは、滋賀県のほか東京方面への人口流出が進むことによるものです。さらに、奈良、和歌山については2割以上の人口減少が進むこととなります。このよう



に、関西は全国以上に人口減少が進むため、注意が必要であると考えられます。

次に格差問題についてですが、ここでは所得格差について考えてみたいと思います。大阪市では一貫して生活保護世帯が増加しているほか、全国的にみても、2004年以降は「200万円以下」と「1500万円超」の給与者が両方とも増えており、所得格差が拡大する傾向にあります。

さらに最近では、所得格差が教育格差につながっていることも指摘されています。一般に、格差問題を労使間の問題に帰着させる論理が多い中、社会全体が取り組むべきテーマであると思われる。

それでは、最後に今後企業経営に求められる視点について、述べたいと思います。サブプライム問題、原油高、円高など、経営を取り巻く環境は厳しいものの、個々の企業の取り組みによっては、成長も十分可能であると考えています。テーマは大きく4つに分かれるわけですが、1番目は、「IT技術・インターネットの活用」であります。よく言われているテーマですが、これによって地方の不利を逆転でき、巨大な海外マーケットの活用にもつながると思います。インターネット人口も年々拡大傾向にあり、世界一の中国では約2.2億人に達しています。

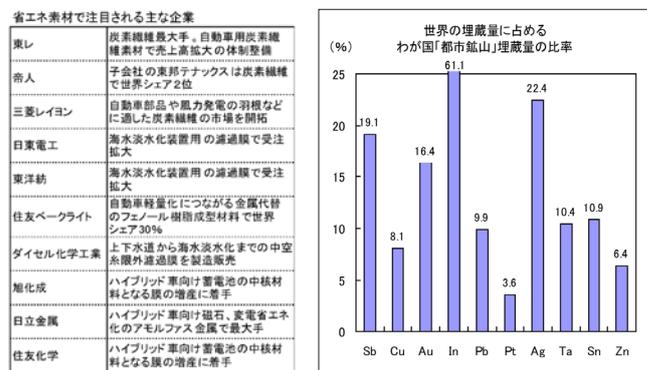
この成功事例として、松屋町のひな人形屋さん、人口構造や習慣の変化で需要の減少に苦しみ中で、インターネットを活用して北海道など遠隔地のニーズを掘り起こし、売り上げを伸ばしています。やはり、優れた商品を持つ中小企業がインターネット直販に乗り出すことで、売り上げを伸ばすケースが多いようです。

2番目は「顧客ターゲットの絞り込み」です。今回は「高所得者向け」、「シニア向け」、「女性向け」という分野を挙げています。この中で、我々が注目した事業として、西宮の会社なのですが、女性専用のフィットネスクラブをご紹介します。実はアメリカの経営モデルを日本に導入したのですが、女性だけにターゲットを絞って募集し、インストラクターも女性、会費を4、5千円と安く抑えて、運動のメニューも30分で済む手軽なものにしたところ、中年の女性を中心にかなり会員の拡大が続いているということです。事業展開も、1店舗目を開設してから、数年で200店舗を展開するまでに発展してきているとお聞きしています。やはり、お客さんのニーズに沿った戦略を取れば、売上を伸ばすことができる好例だと思います。

さらに3番目ですが、「公的機関の活用」です。これはちょっと意外な感があると思いますが、最近は公的機関も外部戦力を活用しながらソリューションを提供しています。販路開拓や知財戦略、新技術の開発に対する支援のほか、大学や異業種との連携の糸口を掴みきかけづくりに活用していくべきではないかと思えます。

4番目としては、「成長分野との接点を探る」ことが必要ではないかと思えます。今回は成長分野の候補として、「環境、省エネ関連」、「IT、ロボット関連」、「健康、シニア関連」を挙げております。

詳しく見ていきますと、まず、環境、省エネ関連の分野ですが、既に日本はGDP1単位あたりのエネルギー消費量で中国、インドの8分の1、EU、米国の半分と、エネルギー効率ではトップクラスにあります。今後、この技術力が世界から求められることは間違いないと思います。



省エネ素材でも、炭素繊維、海水淡水化プラント、太陽電池など、注目される企業が多数あります。

また、最近では「都市鉱山」という考え方も出てきております。携帯電話や電子部品などに含まれるレアメタルを「都市鉱山」と表現し、廃品になった後でこれらをいかに抽出し、リサイクルしていくかが課題となっています。これらの回収には手間がかかる上、大規模な事業化が難しいということで、まさに中小企業の出番ではないかといわれております。

続きまして、IT、ロボット関連分野ですが、先ほどの人口問題の対処法としても、ロボットの活用が挙げられると思います。

例えばトヨタの高岡工場では、40年ぶりのライン更新に合わせて1千台のロボットを投入、生産性を2割上昇させると同時に、製造原価は2割の削減に成功しています。また、「いわきテレワークセンター」では、IT技術を持つ地元の主婦200人が、家事の空き時間に家庭内のパソコンを使って仕事をしています。日本は先進国にあってテレワーカーが就業人口全体の10%に過ぎず、まだまだ伸びしろがあると思えます。

3番目として、健康、シニア関連ですが、例えば最近では「健康ツーリズム」というものが増えてきております。旅行スケジュールの中に「森林浴」や「体質改善プログラム」などが取り入れられたもので、今やその市場規模が4兆円と言われています。まだまだ元気な高齢者のニーズに合わせ、マーケットも拡大することが予想されます。

アジア各国も日本に10年～20年遅れて高齢化社会に入ります。日本でのビジネスノウハウが今後アジア市場でも活用できるわけです。

さらに、メタボ関連の市場拡大にも期待されます。これは関連する対象者が多く、メタボ予備軍を合わせますと1,960万人(厚労省予測)となっております。関連する市場としては、医療関係はもちろん、衣服や食品、フィットネス関連など、様々な分野での拡大が期待されます。

このように企業経営にとって厳しい経済状況下ではありますが、目のつけどころによってはビジネスチャンスがたくさんあると思えます。